

(お願い) 介護保険認定調査票を作成される場合の留意点について

京都市介護認定給付事務センターに提出された認定調査票について、センターにて内容を確認のうえ、選択肢を判断する際に不明な点があれば、調査員の皆様に問合せをさせていただいております。

特に多くみられる問合せ内容について下記のとおりまとめましたので、認定調査票を作成される際の参考にしていただくようお願いいたします。

調査項目	内容	留意いただきたい点	認定調査員テキスト該当ページ
1-1麻痺等の有無	特記事項に確認動作を調査対象者に実際に行ってもらったかどうか記入されていない。	特記事項に確認動作を実際に行ってもらったかどうかわかるように記載してください。	32ページ
1-1麻痺等の有無	脳梗塞後遺症等による麻痺がある場合のみ選択すると考えている。	脳梗塞後遺症等による場合以外でも、神経又は筋肉組織の損傷、疾病等により、筋肉の随意的な運動機能が低下又は消失した場合についても選択してください。	31ページ
2-2移動	移動時の介助の方法が異なる場合において、頻度が少ない状況で選択している。	より頻回に見られる状況で選択してください。 【特記事項の例】トイレまでの移動(5回程度/日)は自力で行っているが、食堂への車いすでの移動(3回/日)は、介助が行われている。より頻回の状況から「1. 介助されていない」を選択する。	74ページ
2-2移動	屋外での移動の状況で選択しており、屋内での移動に関する情報が特記事項に記載されていない。	「日常生活」において、食事や排泄、入浴等で必要な場所への移動にあたって見守りや介助が行われているかどうかを評価する項目ですので、自宅等における移動の状況を特記事項に記載してください。	73ページ
2-3えん下	「見守り」について、2-4食事摂取と混同している。	食物を飲み込む能力を評価します。えん下が「できる」「できない」のいずれにも含まれない場合に「2. 見守り等」を選択します。必ずしも見守りが行われている必要はありません。	76ページ
2-4食事摂取	「見守り」について、2-3えん下と混同している。	食事摂取の介助が行われているかどうかを評価します。ここでいう「見守り等」とは、常時の付き添いの必要がある「見守り」や、行為の「確認」「指示」「声かけ」「皿の置き換え」等のことです。	78ページ
2-10上衣の着脱	衣服の準備や手渡しの行為を含めて評価している。	衣服の準備や手渡しは含みません。	93ページ
2-11ズボンの着脱	衣服の準備や手渡しの行為を含めて評価している。	衣服の準備や手渡しは含みません。	96ページ
3-4短期記憶	調査直前にしていたことについて把握しているかどうかで評価をすることが基本であるが、いきなり3品テストを実施している。	調査直前にしていたことについて、把握しているかどうかで評価します。この確認が難しい場合に、3品テストを実施します。	105ページ
3-4短期記憶	3品テストの方法が認定調査員テキストと異なっている。 (3品すべてを回答させる等)	認定調査員テキストに記載されている方法は下記のとおりです。 ・「ペン」「時計」「視力確認表」を見せて、何があるか復唱をさせ、これから3つの物を見えないところにしまい、何がなくなったかを問うので覚えておくように指示する。 ・5分以上してからこれらの物のうち2つを提示し、提示されていないものについて答えられたかで選択する。	105ページ
第4群全体	「ある」又は「ときどきある」を選択したが特記事項の記載がない。特記事項の記載はあるが、頻度に関する記載がない。	「ある」又は「ときどきある」を選択した場合は、特記事項に詳しい内容を記載してください。 評価軸は「有無」ですが、実際の対応や介護の手間、頻度を特記事項に記載することで、二次判定で評価される可能性があります。	115ページ
第4群全体	1週間に1回の頻度で現れる場合に、「ときどきある」を選択する。	1週間に1回の頻度で現れる場合は、「ある」を選択してください。	114ページ
4-12ひどい物忘れ	単なる物忘れで、周囲の者がなんらかの対応をとる必要がない場合に、「ある」又は「ときどきある」を選択する。	この物忘れによって、何らかの行動が起こっているか、周囲の者が何らかの対応を取らなければならないような状況の有無を評価します。	127ページ
5-6簡単な調理	選択肢の選択方法が認定調査員テキストの記載内容と異なっている。	最初に「炊飯」、 「弁当、総菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱」、 「即席めん調理」のうち、対象者に実際に発生している行為を特定します。それらの行為の全てに介助が行われている場合には「全介助」を、部分的に解除が行われている場合には「一部介助」を選択してください。	170ページ
5-6簡単な調理	経管栄養や胃ろうで、調理の必要のない流動食のみを投与されている場合に「全介助」を選択する。	経管栄養で調理の必要のない流動食のみを投与されている場合は、「簡単な調理」に対する介助は行われていないため、「介助されていない」を選択してください。	145ページ
第6群全体	一時的に実施されている医療行為の項目を選択する。	継続して実施されているもののみを対象とし、急性疾患への対応で一時的に実施されている医療行為は含みません。	147ページ